

コガタノゲンゴロウの生息情報を集めています!

コガタノゲンゴロウとは?

全長約25~30mm前後。背面は黒色又は黒褐色で緑色光沢があり、前胸背板及び上翅側縁に黄褐色の縁取りがあります。外観がよく似ているゲンゴロウ(ナミゲンゴロウ)は腹部の色が異なることで見分けられます。

- ・腹部一黒色…コガタノゲンゴロウ
- ・腹部一黄褐色…ゲンゴロウ(ナミゲンゴロウ)

最新情報!

近年、愛媛県内全域でコガタノゲンゴロウ成虫の確認事例が増えています。

2021年には従来から確認されていた南予地域に加えて、中予地域と東予地域においても幼虫が複数確認されています。

見つけるかも!

コガタノゲンゴロウの特徴



コガタノゲンゴロウと田んぼの関係



コガタノゲンゴロウの仲間



ガムシ

成虫は植物食です。後脚に毛は密集していません。県下全域に分布していましたが、近年は減少しています。

愛媛県生物多様性センターでは

県内に生息するコガタノゲンゴロウの情報を集めています。

情報提供先

愛媛県立衛生環境研究所 生物多様性センター

E-mail seibutsu-cnt@pref.ehime.lg.jp



生物多様性センターHP
「みんなで調べる愛媛の生きもの」